



学校だより 9月号

かわど 60



令和5年8月28日
千葉市立川戸小学校

←創立 60 周年マスコットキャラクター「ゆりっきー」です。

今年の夏は記録的な猛暑となっしまい、日中は外に出るのも辛いような毎日が続きました。夏休みは終わりましたが、まだまだ残暑は厳しそうなので熱中症には十分に注意してほしいと思います。

○子供たちの「心のSOS」にご注意を

ニュースなどで耳にすることも多いかと思いますが、悲しいことに小中高生の自殺者数は、近年増加傾向が続いており、2022年は過去最多の514人となっています。2023年の児童生徒の自殺者数は、1月から5月までの暫定値で164人(前年同期間190人)と大変深刻な状況にあります。その中でも、とくに長期休業明けに増加する傾向があることには心が痛みます。学校でも子供たちの小さな「心のSOS」に気づくように努めてまいりますが、ご家庭でもぜひお子様の心の声に耳を傾けるようにお願いします。

元気がなくいつもと様子が違っていたり、登校することへの不安を感じていたりする場合は、速やかに学校までご連絡ください。なお、学校が休みの日や夜間に相談したい場合は、いろいろな「電話相談窓口」もありますので、こちらをぜひご利用ください。 [まもろうよこころ 検索](#)



○先生方も夏休みには勉強に励みました

川戸小の先生方は、教職員としての力量を高めるために、夏季休業中にはたくさんの研修会に参加して勉強してきました。とくに文科省の「リーディングDXスクール事業」の指定を受けているため、東京で開催された夏季学習会に参加したり学校DX戦略アドバイザーによるオンライン公開研究会に参加したりと、ICT教育に関する知識やスキルを重点的に高めてきました。また8/28(月)にはギガタブの「ドリルパーク」についての自主的な研修会も開催いたしますので、今後ますますギガタブの有効活用を進めてまいります。

また、これらのICT教育以外にも市教育センターや養護教育センターなどが主催する専門研修にもたくさんの先生方が参加しております。特別支援教育や教育相談、各教科・領域の専門的な内容など、たくさんの事を学んできましたので、今日からの教育活動に生かしていきたいと考えています。

○ゆりの木学級で楽しくプログラミング教育

ゆりの木学級の子供たちが楽しくプログラミング教育を受けられるようにプログラミングで動くロボット教材を市教育センターから借用いたします。その教材は「マタタロボ」とうロボットで、プログラムの命令に従い、動いたり、踊ったり、演奏したりすることができる楽しい内容になっています。今後はゆりの木学級以外の学年でも、活用の場面を広げていきたいと思ひます。(右写真はマタタロボ <https://matatalab.jp/proset>より転載しています。)



○理科でもデジタル教科書が使えるようになります

これまでのデジタル教科書は英語や算数でしか使えませんでした。9月からは理科でもデジタル教科書が使えるよう学校独自で調整しています。通常の紙の教科書ではできない機能がたくさんありますので、ぜひ導入後には、ご家庭でもギガタブで試してみてください。このような環境を整えることで「理科好き」の子供たちをさらに増やしていきたいと思ひています。

○関東大震災からちょうど100年目です

今年の9月1日は関東大震災からちょうど100年目となります。日本は地震大国であり、その発生が心配されている地震だけでも首都直下地震、南海トラフ地震、東南海・南海地震などさまざまなものがあります。残念ながら地震は予知することが難しいため、いつ来るかもしれぬ地震に対して、我々ができることは、避難訓練を行ったり事前の準備を行ったりすることです。ぜひご家庭でも万が一に備えて、今一度「避難場所の確認」や「水や食料品の備蓄」など、できる限りの備えを行ってほしいと思ひます。